



NPO 法人 北九州テクノサポート

〒800-0003 北九州市戸畑区中原新町2番1号

TEL: 093-873-1453 FAX: 093-873-1453

E-Mail: npo-kts@npo-kts.org

URL: <http://www.npo-kts.org/>

Vol. 14

平成22年 冬号

新年のご挨拶

会長 小川 勝



新年おめでとうございます。

一昨年後半のリーマンショックをきっかけに昨年度は 100 年に1度といわれるような世界的な大不況に見舞われ大変に厳しい事業運営を強いられました。一部に回復の兆しが見えたとも言われてきましたが、昨今は二番底も取りざたされています。「コンクリートから人へ」を掲げる鳩山政権が再び経済を成長路線に乗せられるのか、事業の仕分けによる影響が良きにつけ悪しきにつけ懸念されます。二酸化炭素の削減 25% の目標達成への具体的な施策も気になるところです。

今年は寅年です。虎は千里を走るといわれますが、おそらく千里先を見ているのかもしれませんが。世の中が変わる時、変革の時は新しい事業のチャンスでもあります。このような世情の中で、当NPO法人北九州テクノサポートは、皆さまのお役に立つ活動を積極的に展開してまいります。昨年度より会員数も大幅に増え、種々の資格や人脈・経験豊富な方々が入会されました。忌憚のないご相談をいただきながら皆さまのお手伝いができることを確信しています、どうぞお気軽にご相談ください。

昨年度は、北九州市をはじめ福岡県、九州工業大学、北九州市立大学、西日本コンベンション協会等の皆さまから事業を受けさせていただき、九州経済産業局のご指導もいただく中で会員の活動を活発に行うことができました。厚く御礼申し上げます。

Topics.1 新規事業が活動する

緊急研究支援事業の活動

熟年世代の挑戦者達

残暑厳しい 9 月 1 日に九州工業大学の教育・研究者のデータベース作成と研究支援の事業に参画する為、33 名のコーディネーターが勢揃いしました。

今回は九州工大の教育・研究者とその研究内容のご紹介を「高校生」にもわかるレベルで企業・受験生・地域社会にご紹介しようという大胆な試みです。

具体的には工学研究院(戸畑)・情報工学研究院(飯塚)・大学院生命工学研究科(若松)に在職する 380 名余の先生方に面接にアリングしてデータベースとなる情報を収集するのが最大の仕事です。多くの北九州テクノサポート会員が現役時代の技術・企業経験を活かそうと参加しています。

趣味の英会話を活用して喜々として取り組まれる方、専門用語と多くの資料に受験生並みに悪戦苦闘する方と様々ですが、仕事となれば「現役時代」の猛烈社員炎の燃え上がるように熱気に溢れた仕事場となっています。

お互いのPC技能の交換によって能力アップもできましたし、最先端の研究に触れることで多に刺激を受けています。

この中から一つでも産学連携の成果に繋がり地域をリードする九州工大だと評価が高まることを期待しながら桜の季節まで頑張っていこうと思います。

*→関連記事 5 ページ

(金井忠廣 記)

北九州テクノフェア支援活動

「中小企業テクノフェア2009in 九州」ビジネスマッチング事業

(財)西日本産業貿易コンベンション協会からはじめて、「中小企業テクノフェア2009」のビジネスマッチング事業を受託した。協会から、厳しい経済環境下に出展していただいた企業へ新企画として KTS の人材・人脈の活用をご指名いただき、それだけ責任重大な事業であった。「お客様は展示企業」という方針のもと、協会と熱い議論も行い「展示企業 36 社の売り」の情報収集、企業訪問 KTS メンバー公募、訪問企業の決定・訪問実施など、KTS 人脈力を大いに発揮したと思う。訪問企業別の訪問報告書、展示企業への関心度などの分析も実施した。

目標訪問企業 30 社に対し実績 33 社、紹介展示企業は延べ 77 社もあったが、紹介できなかった展示企業は 36 社中、9 社(25%)あったことは反省である。

テクノフェア本番は、情報の少なかつた展示企業を中心に全社をヒアリングした。事前情報にはない情報ならい展示を行っている企業も多くあるのには驚いた。フォローも行い、商談に至った企業、フェアに参加した地元企業 23 社の確認もした。

今回の最大の成果は「主催者・展示企業・KTS 各 3 者の有益な課題を見出した」ことであると思う。次回のお声掛けを心より期待申し上げます。

*→関連記事 6 ページ

(藤原利久 記)

会員動向

平成21年度に入り新規加入者が大幅増！大変喜ばしい事態の御紹介です。

平成20年度末の会員総数は67名。ところが8月に九州工大から研究者支援プロジェクト事業で40名程度の人員確保要請あり。急遽、会員から参加希望者を募集すると共に、人員不足が想定されたため、会員が手分けして新規加入者の勧誘活動を展開。13名の方々が新規加入を表明。このフレッシュな方々は上記プロジェクトの新戦力として活躍中。この他に新規加入者が3名、退会者が4名で、年度初めに比べ12名の増員となり、KTSは総勢79名の大所帯となりました。

ちなみに上記プロジェクトで活動中のKTS会員は33名。(事務局記)

謹賀新年

平成二十二年 正月 理事一同



会 長 小川 勝

副会長 石川 浩、小野晃一、小林敏郎

理 事 安東 静、重藤将美、後藤禎二、

鳥越年高、尾形昌彦、磯村福義、藤原成雄

石井 剛、吉村英俊、大久保敏明

監 事 増田幸一



新年の挨拶



平成22年 新年の挨拶 北九州市長 北橋 健治

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、2020年を目標年次とする基本構想「元気発進！北九州」プランに基づく新しいまちづくりをスタートさせた年でした。本年も、本プランに基づいた施策を、財政健全化を図りながら、選択と集中により戦略的に進めていきます。

特に、環境への取り組みが将来世代の豊かで住み良い暮らしづくりにつながるという理念のもと、低炭素社会への転換をリードする「環境モデル都市」として、多様な取り組みをダイナミックに進めます。具体的には、紫川エコリバー構想などの「見える化」「感じる化」プロジェクトの進展による低炭素社会像の具現化、本市の環境技術・人材などを活用し、アジア全体の低炭素化に貢献する「(仮称)アジア低炭素化センター」の開設など、『世界の環境首都』として大きなステップを踏み出す年とします。

同時に、子育て・教育日本一を実感できる環境づくり、ワーク・ライフ・バランスや多文化共生の推進、高齢者の方々が安心して暮らせるまちづくりを着実に進めるとともに、依然として厳しい経済・雇用情勢への対応、新型インフルエンザといった不測の事態への対策など、市民の安全・安心の確保に努めます。また、本市若松出身の作家火野葦平の足跡や人間像に触れる取り組みや、世界遺産に暫定登録された官営八幡製鐵所旧本事務所等の近代化遺産、新鮮で豊かな食に着目したブランドづくりやディスカバー北九州キャンペーンなどを通じて、本市の文化や魅力を全国に発信していきます。さらに、地域の活性化と市民が一丸となれるシンボルとして、念願のJリーグチーム「ギラヴァンツ北九州(旧:ニューウェーブ北九州)」が誕生します。チーム名の由来となったひまわりのように力強く光り輝く活躍を期待して一緒に応援していきましょう。

厳しい社会経済状況ですが、本市のあらゆる資源や魅力を最大限に生かしながら、市民の皆さんとともに、北九州市の未来に向けた着実な前進を続けてまいります。

新春放談 北九州の新年を語る

■TOTO株式会社

代表取締役 会長 木瀬 照雄

新年明けましておめでとうございます。



昨年は、米国オバマ政権の誕生、日本の民主党による16年振りの政権交代など、政治面では大きな変化がありました。経済面では世界金融危機の影響は甚大であり、引き続き厳しい環境にあると言えます。わが国は官民あげて経済立て直しの努力を続けていますので、本格的な回復期は近い将来必ず訪れます。そして、そのための努力は手を抜くことなく続けていかねばなりません。社業においては、国内新設住宅着工戸数はバブル期 160 万戸あったのが 2009 年では約 80 万戸と半減する見込であり、今年も住宅着工の大幅な回復はないことが推測されます。その一方、住宅ストックは潤沢にあり、安全・快適そしてエコな住環境を求める多くのご要望を顕在化していくアクションは極めて重要です。

TOTOは、お客様の豊かで快適な生活スタイルを約束するリモデル戦略を1993年から展開していますが、昨年発表した2017年に迎える創立100周年に向けた長期計画「TOTO Vプラン2017」の中でもリモデルを重要戦略と位置付けています。その実現のためには新商品開発と技術・生産面のイノベーションだけでなく、社員サイドのマインド・イノベーションをも同時に喚起していかなければなりません。昨年より始めたTOTO全グループをあげての工場リモデルフェアは、まさにこの活動の一環であり、昨年は全国で約4万5,000名、うち北九州近郊の本社工場・グループ会社工場では2万名近いお客様にご来訪いただき、リモデルによって生活が一変することを体感していただきました。この活動は北九州地域の活性化にお役に立つものと確信しており、今年も継続してまいります。

人にやさしい元気なまち北九州の実現に、地元企業として寄与できるよう尽力してまいりますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

■株式会社 安川電機

取締役社長 利島 康司

新年あけましておめでとうございます。



昨年は世界同時不況の影響を受け、大変厳しい状況での年明けでした。しかし、年の後半からは経済環境に少しずつ明るさが見え始めています。業界によって回復の度合いに温度差がありますが、総じて回復傾向にあるのではないのでしょうか。

今回の不況で我々は多くのことを学ぶ機会に恵まれました。単に厳しい状況を生き延びる策に奔走するだけではなく、時代の変化に柔軟に対応し、自らが変化していかなければならないのだと思います。北九州市は環境モデル都市として、まさに時代の変化をとらえ自らを変化させようとしています。私は、この取り組みが、市民生活の変化にとどまるのではなく、北九州市に環境技術を多くもった企業が集積し、その技術力を世界に発信していくようになるべきだと思っています。そうすれば、人が集まり、にぎわいのある街になるばかりか、世界に向けて環境モデル都市としての役割を果たせるのではないかと思います。

そのためには、我々が手を取り合うことが大切です。幸いに北九州市にはこれまで蓄積してきた技術力があります。これからも技術を軸に間を取り持つKTS(北九州テクノサポート)の果たすべき役割はますます重要になってくるのではないのでしょうか。

この時代の変化を先取りし、さらに元気な北九州市へと飛躍する年になればと願っております。今年も私は元気に頑張っていく所存ですので、どうかよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、皆様方のこの一年のご多幸を心より祈念いたします。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS 四季報 Vol.14 広告 1-2



経営理念【社是】

私たちは、国家社会を支える重要な仕事をもつことを誇りとし、きびしい自己反省とたゆまぬ創造開発によって会社の発展と人間幸福の実現に努力します。

大光炉材は、ユーザーニーズへの迅速・確実なレスポンスをモットーに、独自の技術開発力を武器にダイナミックな展開をしています
大光炉材株式会社

本社: 〒804-0054 北九州市戸畑区牧山新町 1-1

TEL: 093-871-1631 (代) FAX: 093-883-2151

<http://www.taiko-ref.com>



産業廃棄物処理

プラスチックリサイクル

溶剤リサイクル

高野興産株式会社

本社 北九州市八幡西区御開 2 丁目 5-1 TEL 093-691-2790

北九州エコタウン工場 北九州市若松区響町 1 丁目 62-19

URL: <http://www.takano-k.com/>

新春随想



平成22年の新春随想 財団法人北九州産業学術推進機構 中小企業支援センター長 影山 隆雄

新年おめでとうございます。皆様には日頃より「財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)」事業にご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

2008 年秋のリーマン・ショックを境に、世界各国の政策や消費者の価値観、市場環境がガラリと変わり、北九州地域でも、鉄鋼を中心とする基礎素材、電機、自動車関連などの操業を直撃しています。これに伴って個人消費や設備投資も低迷しており、地域経済は停滞しています。一方、地球環境保護を志向する動きと中国やインドなどの新興国市場の立ち上がりなど一連の動きにより、北九州地域が培ってきた環境関連技術や新素材に大きなチャンスが訪れようとしています。

北九州市は、2008 年、国の「環境モデル都市」に選ばれて以来、今後の低炭素社会づくりに向けた 1)ストック型都市構造への転換、2)次世代産業構造の構築、そして 3)アジア地域への展開などの取組みを強めています。当財団は、本年で 10 年目を迎えますが、北九州地域に集積する大学・研究機関と産業界のコーディネーターとして、また、中小企業・ベンチャー企業の総合的な支援機関として、地域経済の振興に努めてまいりました。北九州市と当財団は、上に述べたような地球環境保護を志向する市場環境の変化と社会的なニーズ、IT分野のクラウド化の動きなどを新しい事業やビジネスに結び付けられるようにベンチャー企業の支援ネットワーク「北九州ベンチャーイノベーションクラブ(略称:KVIC)」を立上げており、今後とも 21 世紀を支える産業の育成にさらなる努力を続けてまいります。当財団の中小企業支援センターでは、創業予定の方や経営者の皆様の相談にお応えする総合相談窓口と、個別の経営課題解決を支援する専門家派遣、中小企業・ベンチャー企業の経営に役立つ諸情報の提供の 3 事業を中心に、中小企業・ベンチャー企業の活性化に向けた取り組みを進めています。さらに、販路開拓の支援や製品・技術開発のコーディネート、特許等の知的財産権の出願や活用など、皆様のお役に立てる事業を実施してまいります。最後に、新しい年が皆様にとって素晴らしい年となりますようお祈り申し上げます。

新春放談 北九州の新年を語る

株式会社住友金属小倉 代表取締役社長 加藤芳充

新年あけましておめでとうございます。

当社は 1918 年に(株)浅野小倉製鋼所として発足し、小倉の地で製鉄業を開始しました。

1939 年に製鉄業のシンボルである高炉の操業を開始、高炉一貫の製鉄所として生まれ変わり、1953 年に住友金属工業(株)と合併し小倉製鉄所として再発足しました。2000 年に分社独立し(株)住友金属小倉となり現在にいたっています。改めて、90 年以上の長きに亘り支えて頂いた地域の皆様方に感謝申し上げます。

一昨年のリーマンショックに始まる「100 年に一度」とも言われる未曾有の経済危機に見舞われ、当社も昨年初回は嘗て経験したことのない 70%減の操業を強いられました。これは、当社の最終顧客である自動車産業・建設機械産業の実需減少と、急激に生産縮小を実施したことによる在庫調整局面により起こりました。4 月以降、政府の緊急政策等により需要は徐々に回復し、年末には 80%~90%操業まで回復しました。本年も不透明な要素が多々ありますが、昨年経験した以上は無いと信じ、前向きに取り組みたいです。

当社は現在「特殊鋼最強の小倉ブランドを勝ち取ろう」を合言葉に、経営の根幹を品質に置き、①品質に強い人②結果管理からプロセス管理へのシステム構築③新製鋼・新圧延機の導入による新製品開発を三位一体で取り組んでいます。「安心品質の小倉」がブランドとなり、地域をはじめ全てのステークホルダーから信頼される会社を目指して精進いたします。

当社は現在「特殊鋼最強の小倉ブランドを勝ち取ろう」を合言葉に、経営の根幹を品質に置き、①品質に強い人②結果管理からプロセス管理へのシステム構築③新製鋼・新圧延機の導入による新製品開発を三位一体で取り組んでいます。「安心品質の小倉」がブランドとなり、地域をはじめ全てのステークホルダーから信頼される会社を目指して精進いたします。

本年も引き続きご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

日産自動車株式会社

九州工場長 児玉 幸信

新年あけましておめでとうございます。

私共、日産九州工場は、九州初の自動車生産工場として1975年に操業を開始し、本年で35年目を迎えます。改めて、これまで長きに亘り支えて頂いた地域の皆様方に感謝申し上げます。

さて、昨年は、米国金融危機に端を発した世界的な経済不況により、私共、自動車産業のみならず、様々な産業において多大な影響を受けました。

この状況を、政府支援による減税・補助金制度やエコポイント制度などで多少は緩和されてきましたが、ここに来て円高・デフレなどで、また厳しい状況となってきております。

この厳しい時期にあらゆる視点から改革を実践し、日産の目指すモノづくりの考え方、お客様1人1人の生産の順序と時間にこだわった同期生産を自社工場だけでなく、サプライヤーさんへも広げる事によりレベルアップしたお客様に同期したモノづくりの実現を目指していきます。

さらに、サプライヤーさんと道のり表を使った共同改善活動を中心としたモノづくりカイゼン推進組織を立ち上げ、改善支援と地場調達により一層、力を入れていく所存でありますので、倍旧のご鞭撻を頂戴する事をお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS 四季報 Vol.14 広告 3-4



株式会社 有蘭製作所

当社は、「人生にやさしい」福祉・医療器具の総合メーカーです！

■当社は、障害児・者及び高齢者の必要とする義肢装具サービスの提供。

代表取締役 有蘭 央

〒805-8538 北九州市八幡東区東田 1-7-5

TEL:(093) 661-1010 FAX:(093) 661-1670

<http://www.arizono.co.jp/>



地球温暖化対策、CO2削減を目的として全面緑化「2度減システム」を推進します！

CASLE CO., Ltd.



代表取締役

渡邊 健司
Kanji Watanabe

カーズル 株式会社

URL:<http://www.casle.co.jp>

〒800-0115 北九州市門司区新門司1丁目9-6 TEL:093-481-1212

新春随想



新年あけましておめでとうございます。NPO 法人北九州テクノサポートの皆様におかれましては、日頃より福岡県産業の振興に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

皆様は、「モノづくりの支援を通じて産業振興を図り、まちづくりに貢献する」との理念の下、経営、技術開発、産学官連携などの支援活動に意欲的に取り組んでおられます。

昨年は、「世界の環境首都」北九州市にふさわしく、エコアクション21の認証取得支援などを強力に推進されるとともに、本県の事業につきましても、「家庭用燃料電池分野への地元企業の新規参入支援」、「福岡県自動車関連産業人材育成事業への活動支援」など、会員の皆様に多大なる御協力をいただきました。小川会長をはじめ、会員の皆様に心から感謝申し上げます。

経済は一部で持ち直しの動きが見えてまいりましたが、依然として厳しい状況が続いています。この難局を乗り切るためには新たな商品やサービスを開発し、世界市場を創造、開拓していかなければなりません。福岡県では、自動車や水素エネルギー、先端半導体など先端成長産業の育成・集積により培われた技術や研究成果を大いに活用し、新製品、新市場、雇用を創出する17のプロジェクト「福岡ニューディール」を進めています。

これらのプロジェクトにおきましても、北九州テクノサポートの皆様の日頃の活動・ご協力が本県の大きな支えであると期待しております。今後とも御協力をよろしくお願いいたします。

本年が、皆様にとって明るく活力に満ちた素晴らしい一年になりますよう心からお祈りいたします。

新春放談 北九州の新年を語る

九州工業大学

学長 下村 輝夫



新春のお慶びを申し上げます。

本学は、ご承知のように4年制の私立明治専門学校として、1909年に設立されました。昨年は創立100周年を迎えました。建学の理念は「技術に堪能なる士君子の養成」です。

一般に、大学は建学の理念から地域と関係し、特に工業系大学は地域経済とも密接に関係しています。

地域経済開発のポイントは、①核となる価値の源泉の存在、②知識・技術の価値をマーケットの価値に変換するインフラ構築、③コラボレーションとネットワークの存在の3点とされています。

知識基盤社会における知の源泉として、地元企業を始め関係研究機関と共に提携とコラボレーションを深めながら、先導的研究センター等のインフラ構築と他と差別化できるオンリーワンの技術やコンテンツの精選を図りたいと思います。

サブプライム問題に端を発し、金融が実体経済を依然として押し下げている状況下にありますが、米国のベン・フランクリン・プログラムやエジソン・プログラムに象徴されるように、革新性や卓越性と言った「技術/知識の価値」がマーケットで評価されることを目指す必要があります。

21世紀のキーワードは、「環境」であることは広く周知されてきました。北九州市は「環境モデル都市」に選ばれ、公害問題を克服した実績は高く評価されています。資源に乏しい我が国は、科学を礎とした技術を立国の手段とすることが不可欠です。国立大学法人は、ナショナルセンターとして、またリージョナルセンターとしての役割を求められています。

平成21年度の日経新聞による「地域貢献度」アンケート調査で、本学は86国立大学法人中第1位に輝きました。

今後とも、貴法人(NPO-KTS)の御指導と御支援のもとに、産学連携に力点をおいて地元の発展に寄与して参りたいと願っております。

北九州市立大学 地域産業支援センター長 上江洲 一也



新年明けましておめでとうございます。

地域産業支援センターは、北九州市立大学の産学連携及び地域貢献の一層の推進を図るため、平成20年11月1日に「企業向け総合相談窓口」として設置されました。このことは、平成18年4月に地域が抱える中長期的な課題に対して学際的な視点から調査研究を行うために発足した「都市政策研究所」、平成21年4月に地域の再生

と創造に貢献できる人材を養成するために新設した「地域創生学群」と合わせて、本学の存在意義を明確にするものであります。それらの取り組みは、日本経済新聞社産業地域研究所の「大学の地域貢献度ランキング」調査において、平成18年度は第2位、平成19年度は第8位、平成20年度は第1位、平成21年度は第2位と4年連続上位にランクされ、非常に高く評価されています。

地域産業支援センターでは、地域企業からの技術相談に加えて、経営に関する相談も受け、有望な産業シーズの開発を担う「技術開発センター群」(集積システム設計環境開発研究センター、地域エネルギー環境開発センター、アクア研究センター、国際連携環境研究センター、環境・消防技術開発センター)と「都市政策研究所」を中心にして、北方・ひびきの両キャンパスの専門教員により助言支援を行います。また、平成20年12月15日に産学連携協力推進の覚書を締結した日本政策金融公庫北九州支店・八幡支店との産学連携協力や、近隣大学及び企業支援機関との連携を通じて、地域産業の発展に向けて邁進する所存です。今後とも、貴法人のご支援ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS 四季報 Vol.14 広告 5-6

株式会社 神垣組



Kamigakigumi Inc.

神垣組(かがみがきぐみ)は左官工事と、環境に配慮したモルタル・コンクリート製品の開発製造を行う会社です。

■私たちは、建築左官の伝統的技術と新素材の開発で、今後とも社会に貢献し、次世代にこの技術を残してい

たいと考えます。

代表取締役 神垣 三次

〒819-0165 福岡市西区今津5413-10

TEL(092)806-6070 FAX(092)806-6070

(株)加来野製作所

新製品 世界初
低温減圧振動除湿式木材乾燥機



国際特許出願中

各種新製品紹介

小型万能乾燥機

オガ粉製造機

バーク粉碎成形機

木資源リサイクル製品

リサイクル製造プラント

(株)加来野製作所 福岡県豊前市大字宇島76-19
TEL:0979-82-3888 FAX:0979-82-1509

Topics.2 九州工業大学「教育研究高度化支援事業」

ユビキタス型研究データベースの整備と連携プロジェクトの創出

九州工業大学 副学長 松永守央

■九州工業大学の目標と事業趣旨

九州工業大学は「技術に堪能なる士君子の養成」という基本方針に基づき、人材育成と研究成果の社会への貢献を目標としています。国立大学の法人化後、約6年が経過しました。大学の機能を最大限に発揮するため、全国の大学に先駆けた多様な活動を続けてきましたが、財源不足により教職員の優れたアイデアを実践できなかった事例も多数あります。幸いなことに、文部科学省の教育研究高度化のための支援体制整備事業として、「産学連携を活用した工学系大学における教育と研究の高度化」が採択され、世界最先端の大学を目指す7分野14事業を推進しており、本事業はその一つです。



■事業の目的と内容

大学には社会に公開している研究データベースがあります。しかし、学外からは、その内容は学術的であり、研究内容の理解や連携可能な研究者の探索に対する不備、データベースの未熟な大学との連携への拒絶などのご意見があります。本事業では、北九州テクノサポートのご協力により、33名のコーディネーターに参画頂き、企業等の皆様にご利用頂ける研究者情報と研究紹介のデータベースを作成しています。誰でも理解できる研究情報を、Web上で公開し、また印刷物としてユビキタスにご利用頂きたいと考えています。

■北九州からイノベーションを

本事業では、研究データベースの整備に留めるのではなく、新しい研究開発プロジェクトの創出に繋げることを企画しています。本事業のデータベースと社会的ニーズをマッチングさせる場を設け、コーディネーターの皆様から積極的な企画を立案して頂き、新規なプロジェクトを創出したいと考えています。このような活動は、イノベーション創出に繋がる産学官連携の形を北九州から発信できると期待しています。今後ともご協力をお願いします。

産学連携におけるマッチングの心得

九州工業大学 客員教授/研究職員 田中洋征

I. マッチングの心得

コーディネーターの重要な使命は、産学連携による事業化である。大学は、外部資金を獲得し、教育・研究にフィードバックして、大学のブランド力を高めることで成功といえるが、企業は事業化し利益をだして初めて成功といえる。しかし、産学官連携による事業化は、Science を Technology へ Technology から Business へ進展させることであり、Science から Technology へ進めることは、現代の技術をもってすれば、それほど困難ではないが、Business は逆に容易ではない。

このため、コーディネーターは、事業化に成功するための必要条件を、十分認識しておくことが求められる。

II. 外部資金獲得の条件⁽¹⁾

外部資金を獲得する必要条件は、事業として成功する確率が高いことである。その意味でベンチャーキャピタル等が投資する条件を調査することが近道である。著者は、これまでの経験やいくつかの講演等から調査したが、その条件は以下のようである。

(1) 開発の必要性 (このテーマで金をかせげるか):

- ① ニーズには社会が困っておりなくてはならないもの(目指すべきもの)とあった方が良く便利なもの(失敗の可能性大)に分けられる。
- ② 人命、安全・健康、環境にかかわる分野は早期の事業化が期待できる。
- ③ 個人相手より企業対象が良い。

(2) 製品・技術の特徴と発展の可能性(この技術は今後どう展開するのか):

- ① 新規性、有用性、独創性の証明ができるか(類似商品との差別化)。
- ② 製品の寿命はそれほど長くない、開発した技術から次製品ができることが望ましい。

(3) 技術開発・事業化能力(誰がこの事業に参加しているか): ① 経営責任者、技術顧問等はどうのような専門家か、チームの人材が問われる。

(4) どのようなリスクがあるのか: ① 事業にはリスクがつき物、致命的リスクでなければ、リスクがあることを認めた方が良い結果をもたらす場合が多い。

(5) 知財戦略(知的財産の保護があるか): ① 知的財産の保護がないものは、全く対象にならない。

III. 企業からの大学等との連携のポイント⁽²⁾⁽³⁾

産学連携による事業化は先生の選定が極めて重要である。米国では、技術移転の必要条件に先生のプロフィールを重視している⁽³⁾。技術移転に積極的に参加できるか、報酬に対する期待が現実的か、学会や産業から高い評価と尊敬を受けているか、が求められており、全国規模で最適な先生を探すのが良い。

IV. 申請書作成のポイント⁽⁴⁾

外部資金の獲得は申請書作成の良し悪しで決まると言ってもよいが、経済産業省や JST では申請書の書き方は異なる。まず、制度の趣旨や経緯を調べておく必要がある。一般的には次のようなことを心がけておくことと採択されやすい。

① 実施する事項を明確に記述する。「こんなことをする。」という主張を明確にし、従来技術との優位性(相違)を的確に記述する。

② 社会、産業などにおける波及効果、貢献等を明確に記述する。

「実施予定の計画」が実現すれば、どのような産業や技術として社会に貢献するのか。またその市場規模や市場占有率等を述べる。特に、具体的な例を挙げることや、研究成果により市場どのように変わるのかという点を強調できると効果的である。

③ 事業計画を達成するのに必要な要素を明記する。「何が」あればできるか。何が無いからできないのか。が理解しやすいことも重要である。

④ 「自社だからできる。」ことを強く主張する。(最重要項目)誰でもできるならば申請は認められる可能性は低い。研究実績、知的所有権、新規なアイデア、特殊な装置・備品の所有と活用など、申請者でなければできない理由を強く主張することが最も重要である。 (* 以上、参考文献記載省略)



北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■広告会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS 四季報 Vol.14 広告 7-8

GL PIPE JOINTS 好評です

GASKETLESS 管継手
パッキンのいらない



The Creative Corporation
株式会社 大創

新製品賞
'99 中小企業
優秀新技術新製品賞

福岡県知事賞
中小企業先端技術展
福岡県知事賞

■北九州市八幡東区西本町 4-5-1
TEL: 093-681-7195/ FAX: 681-7196
E-mail: pd-otsuji@daiso.bz
URL <http://www.daiso.bz/>

口ご質問・お問い合わせは→専用 FAX: 093-681-7197

自動車用ボディ関係の板金プレス金型設計・製作で
世界をリードする金型専門メーカー



株式会社 ウチダ

代表取締役社長 内田 末男

九州工場 〒823-0011 福岡県宮若市宮田 5 4 2-3 8
TEL (0949) 33-3145 FAX (0949) 33-3146
本社 〒574-0055 大阪府大東市新田本町 1 2-6
TEL (072) 874-3377 FAX (072) 874-3839
E-mail: info@uchidanet.co.jp
URL: <http://www.uchidanet.co.jp>



初めてのコラボレーション大成功！出展社の拍手に沸く！

中小企業の優秀な開発製品や技術力を一堂に展示実演し、広く発注企業、商社に対して「製品開発力」や「加工技術力」を紹介する「中小企業テクノフェアin九州2009」を、中秋の10月21日(水)～23日(金)にかけて開催した。このフェアは「ものづくりの街 北九州」で18回目を迎える歴史を刻んでいるが、最近では関東や関西の展示会も目白押しであり、出展社数の減少傾向に歯止めがかからない状況となっていた。しかも、昨今の経済環境が厳しい状況において、北九州で開催するこの中小企業テクノフェアの魅力をもどのように出展社に提案して出展に結び付けていくか、思案のしどころとなっていた。

そこで、出展社から望まれるフェアの魅力は何だろうと考え、それはまぎれもなく「ビジネスマッチング」が第一であることにたどり着いた。

このビジネスマッチング事業を推進するには協会だけの力では到底及ばず、その連携先として浮かんだのが、地元企業に精通されている技術屋集団「NPO法人北九州テクノサポート」(以下KTS)であった。KTS小川会長他理事の方々に、救世主となっていたきたい思いから足を運び、連携の打診をおこなったところ二つ返事でご快諾いただいた。ここにKTSと当協会の初めてのコラボレーションが始まったわけである。

その後の、KTSの活動奮闘記は世話人である藤原様の寄稿に譲るとして、大手企業OBとして百戦錬磨のつわものメンバーの「チーム藤原」として、大胆にして時に緻密にとっても頼りになる活動をしていただいた。ちょうど会期前のPRのための企業訪問の時期は残暑の頃と重なり、汗だくの活動には頭が下がる思いであった。

そして、迎えた「中小企業テクノフェア in 九州2009」。KTSブースも構え、会場は事前にPRして来場促進を図った地元企業、そして出展社とのビジネスマッチングのステージとなった。

気になる成果をみてみると、関心をもった企業の来場促進が図れたとともに、具体的な商談に道筋ができたケースも見られた。出展社アンケートからも「とても有益だった」「有益だった」を合わせると45%にも達し、一定の評価を得られるものとなっている。

私としては、今回初めての企画をKTSとコラボレーションのもと実施したが、出展社に対するフェア魅力の一つとして大成功！であったと思う。「ものづくりの街 北九州」で開催するフェアの特色付けとして、KTSとの連携は今後も続くであろうことを確信した。



余談となるが、出展社との交流会では今後のための貪欲な情報収集もさることながら、KTSメンバーの方々の飲みっぷりにも驚いてしまった…。交流会も十分に親睦が図れるものとなり、拍手に沸いた雰囲気の中でお開きを迎えた。「チーム藤原」、そしてKTSの皆様、本当にありがとうございました。

2009・12・10 (財)西日本産業貿易コンベンション協会
事業第二課 田中 建次 記

NPO-KTS展示ブースの紹介

平成21年10月21日から23日の3日間実施されましたテクノフェア2009において、主催者である(財)西日本産業貿易コンベンション協会様からの御提案で、KTS 始まって以来初めて、「KTS 展示ブース」を出展しました。

出展の目的は、KTS の知名度向上と、別途 KTS が同協会から委託されたビジネスマッチングを支援することにあります。

この構想は今年4月から始動し、専門委員により具体的な実施事項を決定、準備作業を開始しました。展示物では、KTS の概要を理解いただくためのパネルの作成が主体で、過去の実績や会員の所持資格・出身企業、トピックスとして「金型研究会」の「ものづくり大賞受賞」と「EA21」活動の紹介など8枚のパネルを作成しました。作成に当たっては、関係理事のセンス溢れるアイデア提供と会長の支援により完成を見ました。

また、会報に掲載している賛助会員様ならびに協力企業様の広告の拡大版を作成し、パネルの下段に掲示いたしました。KTS のPR 資料として、会報、パンフレット、EA21 パンフレット、更には賛助会員様から提供を受けた商品カタログなどをテーブル上に並べ訪問者にお持ち帰りいただきました。



もちろん、フェア開催期間はビジネスマッチングに参加した会員をはじめ

会員有志がブースに詰め、盛んにPR 活動を行ったことは言うまでもありません。

初めての経験で反省点もあります。パネルの文字が小さくて見えにくかった点、パネルとパンフレットのみで客を引き付ける迫力に欠けた点、などなど。

初期の目的は達したと思っていますが、お客さんに興味を持ってもらうことの難しさを痛感いたしました。今後の事業活動に生かしていきたいと思います。(小林敏郎記)



北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。



The Actual is Limited
The Possible is Immense
MATSUSHIMA

代表取締役社長 松島 徹
株式会社 松島機械研究所

本社 北九州市八幡西区大字則松461 〒807-0831

■TEL 093-691-3731 ■FAX 093-691-3735

■<http://www.matusima.co.jp>



■完全国産化した、
パルスレーダー式マイクロ波レベル計

■広告会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS 四季報 Vol.14 広告 9-10

驚異のホームページ革命!
情報簡単更新! パソコン版と携帯版をセットで提供

れんたるWEB

制作費ナシ! 月々わずかなレンタル料のみ

更新簡単 CMS 機能付き	携帯版 ホームページ 付き	コスト ダウン 実現	SEOは 当たり前	オリジナル ブログ	動画表示も 可能
---------------------	---------------------	------------------	--------------	--------------	-------------

■詳細情報、お申込み、各種お問い合わせは

093-932-2350
※おかけ間違いのないようにご確認ください。
午前10時～午後6時/土日・祝日を除く

E-mail: lantech@lantech-software.co.jp
FAX: 093-932-2352
<http://www.lantech-software.co.jp>

lantech
Software Corporation

中小企業が期待する KTS の専門Gr活動紹介

■「北九州 TLO」ライセンス活動(FAIS より受託)

北九州に立地する大学が研究開発した特許をこの地区の中小企業に紹介・普及する活動で、過去3年間で4名のKTS会員が数十社の企業にアプローチした。



地元の中小企業者からは、新しい特許・技術情報が提供されるので感謝されている。

また、一方では、個人的に会員5~6名が「特許流通アソシエイト」して活動している。



■「4県立工業高校人材育成支援事業」に協力

北九州地区の県立4工業高校(小倉、戸畑、八幡、苅田)をモデル校としてH19年から3年間実施している事業で、KTS会員4名(石川、小野、小林、重藤)が対応。企業の高度熟練技能・技術者による学校での



実践的技術指導や、高校教員等の企業研修のコーディネーターとして受入企業の探索・受入要請活動をしてきた。



尚、12月1日この事業の成果発表会がウェルとばたで盛大に行われた。

■ISO/EA21 支援 Gr 活動の近況

現在、ISO14001 のコンサルを実施中です。組織上、取組が難しいところを解り易く支援しています。また、エコアクション21のグループコンサルを北九州市と福岡県、佐賀市、山口県等の各団体から委託されて実施しています。

これに先立って、コンサルの充実と平準化を図るため当法人所属のEA21審査人が集まって夏季合宿研修を開催しました。毎年実施していますが、回を重ねるごとにEA21をより理解しやすい内容に具体化し、テキストもより充実してきました。この効果は解りやすいコンサルや審査にも反映されるもので他に誇れる活動と自負しています。



■IT 支援 Gr 活動の近況

□「ホームページ作成」の支援

中小企業のホームページ新規作成支援及び入力法の指導を実施した。

□Excel・Accessで

豊富なデータ処理能力を活用して業務に適合した業務改善が期待できます。ご相談ください。

期待できる業務改善の事例		
業務向上目標	具体的目標	分析手法
売り上げ拡大	売り上げアップ	ピボットテーブル
		顧客評価分析
コストダウン	適正在庫	要因分析
		最適適応法
顧客満足度向上	顧客の困り処	バレー図
		RMF分析

エコアクション21 地域事務局福岡

エコアクション21地域事務局福岡の活動状況

エコアクション21もかなり普及してきました。全国で約4,100社を超える事業者が認証・登録をしており、毎年1千数百社ずつ増加しております。当地域事務局としては、約170社の事業者を担当しております。

今年度は、エコ企業交流会が北九州市のご尽力ではじめて実現の運びとなりました。エコアクション21、ISO及びエコプレミアムのエコ関連企業約100社200人が集まり、北橋市長はじめ環境局の皆様を囲んでの講演会、懇親会が実施され、大いに盛り上がりしました。

また、福岡県の3地域事務局が主催して、九州・沖縄地区の審査人力量向上研修会を、全国に先駆けて実施しました。47人の審査人及び10地域事務局の13職員が参加し、森下中央事務局長の基調講演、テーマごとの研修会及び懇親会を盛大に開催いたしました。(写真)

さらに、九州・沖縄地区環境活動レポート大賞表彰が行われ、受賞した7社のうち、当地域事務局がお世話している事業者から、(株)オークマがレポート大賞、(株)九州構造設計がパフォーマンス賞、(株)ジェイ・リライツが廃棄物部門賞を受賞し、事例発表及び表彰式が行われました。(写真)

今後ともますますエコアクション21の普及につとめてまいります。中小企業の皆様がより多くエコアクション21に参加され、認証取得されることを期待しております。



北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■広告会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPRー募集中>
NPO-KTS 四季報 Vol.14 広告 11-12



株式会社 豊洋製作所



エコアクション21



◆金具本体

工場:〒800-0304 福岡県京都郡苅田町鳥越町1-44 代表取締役社長 小河原 悟

TEL:093-436-5200/FAX:093-436-5207

E-mail: keikaku@hoyo-s.co.jp

URL: <http://www.hoyo-s.co.jp/>

◆水栓金具の部品メーカー



未来へつなぐ
蛍光管リサイクルへの挑戦

「ランプ to ランプ」を目指す蛍光管リサイクル



エコアクション21
認証・登録番号: KTS01027



J-RE-LIGHTS

九州電力グループ
株式会社 ジェイ・リライツ

株式会社 大光炉材

11月26日、小川理事が同社を訪問し小林社長と平川取締役からお話を伺いました。戸畑の本社は、本社事務所と新素材製造工場、炉材の研究所から構成されています。炉材の製造工場は大分と津にありま。お話の後、研究所と新素材(ファインセラミック)製造工場を見学させていただきました。

■会社の沿革と業況

1954年4月創立、戦後の基幹産業である鉄鋼業を支える【不定形耐火物】の専業メーカーとして、競合他社に鉄鋼メーカーの関連企業が多い中、独立資本で卓越した技術力を醸成してきました。



小林社長

中でも、出鉄材には、定評があり国内トップメーカーのひとつとされています。現在では、国内各高炉メーカー以外に、海外メーカーにも技術を輸出しています。約四半世紀前からは、小物精密ファインセラミックスにも進出、半導体製造装置部品ならびに工業用刃物などを手懸けています。子会社には、工業炉

設計製作と耐火物施工を主業務とする株式会社テックがあります。

■今後の展望と課題

販売については、競争激化する国内サービスを第一に、また将来に向けては海外(欧米、韓国、台湾、中国、インド、ロシア)への販路拡大を目指しています。また、主原料が中国から入手しているため、価格、量の安定化に取り組んでいます。

■KTSへの期待

ファインセラミックスの顧客からの要請でEA21を導入し、本社事業所で拡大しました。エコブームに乗って社員への意識高揚には、役立ったが、実利のあるものに変えることをお手伝いしたいと思っています。



本社社屋



新素材工場

◇会社概要

- 本 社: 北九州市戸畑区牧山新町1番1号 TEL: 093-871-1631
- 代表者: 代表取締役社長 小林 晃
- 設立: 1954年4月
- 資本金: 5,000万円
- 従業員: 228名(内正社員: 177名)
- 事業内容: 不定形耐火物および
ファインセラミックスの製造販売、研究
- URL: <http://www.taiko-ref.com>

株式会社 ウチダ

11月25日、石川、重藤 両理事が当社 九州工場(宮若市)を訪問し、大原取締役統括部長より懇切丁寧にお話をお聞きした後、工場見学を行った。

■会社の沿革と業況

当社の原点は1934年大阪市内に創業した内田鉄工所であるが、1965年自動車用部材等のプレス金型に特化して大東市へ本社を新築移転して現在に至っている。2007年10月九州工場を移働、地元のトヨタ九州(株)、ダイハツ九州(株)をはじめ、日産・ホンダ・スズキ等の自動車用部材のプレス金型を各プレスメーカー(株)フタバ伊万里、豊田鉄工(株)等々へ納入している。当社の強みは「高張力のウチダ」と称されるように業界でいち早く自動車の



大原取締役

強度部材へのハイト材の使用を可能とするプレス金型を開発・提供し多くの使用実績を有し、プレスメーカーから絶大な信頼を得ている点である。

■今後の展望と課題

当社の技術力を存続・発展させるのは“人”であり、人材の育成確保こそ当社にとって最重要事項である。その一環として本年、九工大長期インターンシップ事業へ協力し5月に工場見学、8月に研修生の3週間受入れを実施し、社員全員で対応して成果が上がったと思う。特に若手社員は「教える・伝える」ことの難しさを体験し更に技術力研鑽に励みがついたと確信しているとお話を伺い、「技術・技能の伝承」に絶えず努めている当社の意気込みを感じた。

■KTSへの期待

ウチダは、年々高度化する金型技術を伝承しつつ、どこにも真似のできない独自技術を維持・発展させていく必要がある。そのためには計画的に良い人材を採用し、育成していく必要があり、KTSには今回長期インターンシップで九工大との関係構築の一端を支援して頂いたが、更に現在、金型技術の新規開発課題を検討中であり、この面でも今後、支援を頂きたいと考えています。



◇会社概要

- 本 社: 大阪府大東市新田本町12番6号 TEL: 072-874-3377
- 九州工場: 福岡県宮若市宮田542-38 TEL: 0949-33-3145
- 代表者: 代表取締役社長 内田 末男
- 設立: 昭39年4月
- 資本金: 3,000万円
- 従業員: 130名(内九州工場37名)
- 事業内容: トヨタ・ホンダ・ダイハツ・三菱・スズキなど自動車用
ボディー部品のプレス金型の設計製作全般
- URL: http://www.uchidanet.co.jp/company_prof.html

■会員・賛助会員の募集(当法人は、会員の会費で運営されております)

企業の第一線をリタイアされた方の第二の人生を地域社会発展のために貢献・恩返ししてみませんか…? 皆さん方が持っておられる知識・技術・経験・人脈は、次の社会に伝えなければならないし、それは義務でもあり権利でもあります。これからが本格的な社会貢献の時期なのです。当NPO法人を利用して、地域社会の潤滑剤として役立てて下さい。

- プラスα:「中小企業における製品開発資金調達について」(国や地方自治体が行っている中小企業向け施策「助成金・補助金」を利用していませんか?)
- …新製品開発は、企業経営にとって重要な課題の一つです。そこで、皆さん方も良くご存知の助成金・補助金などの利用を考え見ては如何でしょうか。新年度が4月からスタートしますが、この時期を皮切りに公募が始まります。応募するには即準備に取り掛かってください、公募が始まってからの準備では間に合いません。ただ、書類をつくるのが面倒だと思っている中小企業さんの方も多いのではないかと思います…?その時は、当NPO法人にご相談下さい。
- ⇒当NPO法人は、70数名のシニア技術者集団です、その中から貴社ニーズに合った専門家が適切にサポート対応します。

■会員・賛助会員の会費

- ・正 会 員 入会金: 5,000円/年会費: 5,000円
- ・賛助会員(法人) 入会金: 10,000円
年会費: 20,000円/1口
- (個人) 入会金: 5,000円
年会費: 5,000円

編集後記

北九州テクノサポート通信のページを倍増し、内容を充実させました。出来るだけ、地域の企業・大学・行政等の活動内容が出来るだけ分かりやすくするよう努力しました。会員並びに地域の中小企業・行政機関の方にも広く「北九州テクノサポート」をご利用下さるようお願い致します。 広報部長 重藤将美



北九州 TS

《詳細情報は下記ホームページから》

<http://www.npo-kts.org/>

賛助会員の申し込み受け付中: ホームページから申込用紙をダウンロードして下さい。技術・経営の発展を支援します。

NPO 法人 北九州テクノサポート
会報「北九州テクノサポート通信 Vol.14」

平成22年1月10日 印刷発行

- 発行・編集: NPO 法人北九州テクノサポート
- 北九州市戸畑区中原新町2番1号 北九州テクノセンタービル8階806号室
- TEL/FAX: 093-873-1453 E-mail: npo-kts@npo-kts.org